ミャンマー現地情報レポート（第 1 号）

2021 年 1 月 1 日～19 日

目次 ページ

1. ミャンマービジネス情報
   - 1.1　ミャンマー投資情報　1
   - 1.2　ミャンマーインフラ情報　2
   - 1.3　ミャンマー産業情報　3
   - 1.4　ミャンマー一般情報　3
2. 政府公告情報　4
3. コロナの最新情報　4
4. ミャンマー為替相場　5
5. ヤンゴン証券取引所の株価情報　5

1. ミャンマービジネス情報

1.1　ミャンマー投資情報

AMATA Holding がヤンゴン証券取引所に上場

2020 年 12 月 28 日にヤンゴン証券取引所(YSX)より AMATA Holding Public Co.,Ltd（アマタ・ホールィングス）の上場を承認すると発表された。アマタは YSX の 7 社目の上場企業となりますが、上場期日は未定である。株価に関しては上場期日の前営業日に YSX のウェブサイトにて公開されるそうだ。

ヤンゴン証券取引所(YSX)

アマタ・ホールディングスの主な事業はホテル、リゾート施設、観光用熱気球で、United International Group の出資比率 99.99%と Myanmar Ballooning の出資比率 51%を持っている。国内の中級・高級リゾート、ホテル、スパを運営している大手企業でもある。Awinka ホテルに加え、アマタは自社ブランドの拡張を目指して、ミ

ェイク諸島でのビジネス機会にも注目している。

出所：The Myanmar Times 新聞、2020 年 12 月 30 日

ミャンマー投資委員会が 30MW ソーラープロジェクトを含む投資提案 5 件を承認

ミャンマー投資委員会(MIC)

2020 年 12 月 30 日に開催されたビデオ会議でミャンマー投資委員会(MIC)は 2 件の 30MW ソーラープロジェクトを含む新投資提案 5 件の申請を許可すると発表した。許可された投資案件にはエネルギー、漁業、ホテル、サービス等各セクターの事業が含まれており、資本金は約 1 億 3,800 万米ドルである。

今回のプロジェクト実施により 4,000 以上の雇用機会を生み出すことが期待されている。投資・対外経済関係省によると、MIC が許可した新しいプロジェクトには、ザガイン地域での 30 MW ソーラープロジェクト 2 件とタニンダーリ地域でのエビ養殖業が含まれている。国の増大する電力需要を満たすため、電力エネルギー省は来年の夏までに太陽熱発電所の建設の完成を目指して進めている。

今年度の 10 月から 12 月にかけて、MIC および関連する投資委員会は中国、シンガポール、韓国、タイ、インド、ベトナムの製造業、畜産・漁業、農業、エネルギー、ホテル、その他サービス部門の外資企業 19 社に投資申請を許可した。既存の企業による資本の増加を含め、3 億 3,775 万米ドルを超える投資案件となる。

出所：The Global News Light of Myanmar 新聞、2021 年 1 月 4 日

1.2　ミャンマーインフラ情報

タイ PTTEP、ミャンマーに天然ガス火力発電所を建設

ミャンマー政府は、エーヤワディ管区のチャイクラットに 20 億米ドルの国内ガス火力発電プロジェクトの実施を承認した。電力エネルギー省の発表によると、タイの国営石油開発公社(PTTEP)は 20 年間の BOT 方式(built-operate-transfer)で 592MW 出力の大規模な天然ガス発電所プロジェクトを実施する予定で、プロジェクトの期間を 5 年間延長することも可能だという。

2024 年前半に実施される予定のこのプロジェクトは、ミャンマーの持続可能な開発計画と 2030 年までに全世帯の電化を目指すエネルギー・マスタープランに沿って承認された。このプロジェクトによる発電量は、ミャンマーの既存の発電量の約 10 パーセントを埋められると予想されている。

ヤンゴンおよびエーヤワディ管区周辺の将来のプロジェクトに電力を供給し、余剰電力は、チャイクラットからライターヤー変電所への 230KV の送電線により国家電網に供給される。最終的な投資決定は来年初めまでに行われる予定である。

出所：The Myanmar Times 新聞、2021 年 1 月 4 日

ミャンマーと中国がマンダレー・チャウピュー鉄道の事業化調査を実施

2021 年 1 月 11 日にミャンマーと中国の政府はラカイン州のチャウピューとマンダレー及びムーセを結ぶ鉄道の事業化調査を実施するための覚書を交わした。2020 年 1 月、習近平中国大統領がミャンマーを初めて訪問した際に、中国中鉄二院工程集団（ＣＲＥＥＧ）はムーセ・マンダレー間鉄道の事業化調査に関する報告書を発表した。両国は過去 1 年間技術と資金調達について議論を行った。ミャンマー国鉄によると本鉄道プロジェクトのムーセ・マンダレーセクションの投資額は米ドル 89 億となるそうだ。また、中国側の鉄道は 2023 年に完成し、ミャンマーと中国間で列車が走る予定だと中国大使が述べた。

出所：Myanmar Business News ジャーナル、2021 年 1 月 11 日

1.3　ミャンマー産業情報

コロナの影響で 100 以上の縫製工場が閉鎖

コロナの影響で約 100 社程の CMP 工場が閉鎖されたとミャンマー縫製業者協会(MGMA)の代表が述べた。MGMA の代表、キンマウンウー氏によると協会に 700 以上の工場が加盟しており、そのうち 50 以上が新型コロナウイルス第 1 波で閉鎖され、さらに 50 以上が第 2 波で閉鎖されたという。

「縫製業界にとって最悪の状況を乗り越えましたが、注文が入っていないのは事実です。まったく注文を受けていない工場もあり、十分な資金がない工場はしばらくの間閉鎖しなければならないだろう」と同氏は話す。加えて、事業主等の話により、停止された工場の多くは外国人が所有しており、中国国籍のオーナーが多いそうだ。

出所：The Myanmar Times 新聞、2021 年 1 月 5 日

1.4　ミャンマー一般情報

ミャンマー・中国国境のムセ国境ゲートが 5 日から 24 時間稼働

ミャンマーと中国間の国境貿易と物流に欠かせないムセ・マンウェイン国境ゲートは 2021 年 1 月 5 日から 10 日間試験的に 24 時間通行可能となる。「コロナ感染抑制に成功すれば、通常通り各ゲートの稼働が再開されます。Sin Phyu ゲート、Kyin San Kyawt ゲート、Wanding ゲートなど他の国境ゲートも再開の準備をしています」とムセ情報省の局長が述べた。

現在、マンウェインゲートでは毎日約 120 台のトラックが通過しており、もし 24 時間稼働した場合は 1 日あたり 300 台になる可能性がある。これまでムセから中国に渡るのに約 10 日間かかりましたが、マンウェインゲートが 24 時間稼働すれば、約 3～4 日間に短縮できるそうだ。ただし、両国はトラック運転手のために責任を取って、トライアル期間中にコロナのガイドラインに準拠しているかを確認する必要がある。マンウェインは商品流通に最も重要な国境ゲートで、2019-20 年度のムセの総貿易額は 48.6 億米ドルだった。

一方、タム商業組合の関係者によるとコロナの感染者数が両国で減少しているため、ミャンマーとイ

ンドの国境ゲートも 2021 年 1 月 6 日以降から稼働を再開するという。

出所：The Myanmar Times 新聞、2021 年 1 月 4 日

2. 政府公告情報

経済救済と改革計画についての公告（2021 年 1 月 11 日発表）

2021 年 1 月 8 日に開催された国家観光開発中央委員会の会議でミャンマー政府は経済救済と改革計画を発表する予定だとミャンマーの国家顧問であるアウンサンスーチー氏が述べた。ミャンマー経済救済・改革計画にはコロナの影響から回復するための計画も含まれており、持続可能な開発計画の一部でもあると発言した。

また、ホテル観光省は国内の組織と協力し、世界観光機関と世界旅行ツーリズム協議会の勧告に沿って、観光産業を復活させるためのロードマップを作成した。短期、中期、長期の計画を含むロードマップはミャンマー観光救済計画と連結して実施されるそうだ。さらに、ミャンマー政府は旅行者とサービスを提供するスタッフの安全に向け、関連省庁が発行したコロナの予防に関する全てのガイドラインをまとめた国家観光ハンドブックを発行する予定である。

加えて、スーチー氏は「練習するだけでなく、全てのガイドラインがシステム化できるよう皆に協力してほしい。現在、当局は決められた規則とガイドラインに沿って、観光・遊覧フライトの運航とクルーズツアーを実施しており、それに続きビーチも再開できるよう進めている。」と話す。同氏は世界の観光市場で競争できるために、ミャンマーの観光産業発展に向けた革新、技術、マーケティング活動も求めていた。

出所：Myanmar Business Today ジャーナル、2021 年 1 月 11 日

3. コロナの最新情報

コロナに伴う国内規制

入国制限措置及びビザの発給停止

- 1 月 31 日までを予定しており、2 月 1 日以降も続く可能性あり。
- 12 月 16 日より国内便が再開。
- 6 月上旬以降、政府事業等に関わる一部の方の入国を許可。

集会禁止措置

- 1 月 31 日までを予定しており、2 月 1 日以降も続く可能性あり。
- 30 名以上で集まってはいけない。

夜間の外出規制

- 1 月 31 日までを予定しており、2 月 1 日以降も続く可能性あり。
- １2 月時点では深夜 0 時～朝 4 時までの間。

飲食店への営業規制

- 9 月下旬より市内の飲食店で店内飲食の禁止措置。

- 市内のエリアごとに徐々に解除を予定。

4. ミャンマー為替相場

1 米ドル当たりのミャンマーチャット

銀行名	売り	買い
Central Bank of Myanmar	1,332.8	1,332.8
Kanbawza Bank (KBZ)	1,338	1,328
Ayeyarwaddy Bank (AYA)	1,340	1,333
Commercial Bank (CB)	1,338	1,332

※為替レートに関しましては 1 月 19 日のレートを記載させて頂いております。

5. ヤンゴン証券取引所の株価情報

会社名	上場日	株価(ks)
First Myanmar Investment Public Co., Ltd. (FMI)	2016 年 3 月 25 日	9,700
Myanmar Thilawa SEZ Holdings Public Co. Ltd. (MTSH)	2016 年 5 月 20 日	3,750
Myanmar Citizens Bank Ltd. (MCB)	2016 年 8 月 26 日	8,200
First Private Bank Ltd. (FPB)	2017 年 1 月 20 日	22,000
TMH Telecom Public Co., Ltd. (TMH)	2018 年 1 月 26 日	2,700
Ever Flow River Group Public Co., Ltd. (EFR)	2020 年 5 月 28 日	3,700
Amata Holding Public Co., Ltd. (AMATA)	未定	未定

※株価情報は 1 月 19 日の最新価格を記載させて頂いております。

出所：ヤンゴン証券取引所公式サイト